

五ヶ瀬川タイムライン机上訓練 ～内水被害、土砂災害も踏まえた二次案の検討～

五ヶ瀬川タイムライン机上訓練は、2月26日に開催されました。冒頭に、延岡河川国道事務所川元副所長より「現在取りまとめられているタイムライン一次案の中の項目の不備、齟齬、行動の前倒し等の必要性について確認していただきたい」、宮崎大学村上教授からは「想定されている方もそうでない方もぜひイメージを確認し合い、二次案に反映していただきたい」という挨拶があり、前半では、タイムライン1次案の確認を行いました。その後、関係機関ごとのグループとなって、各々の行動項目について一つ一つ確認しながら、適宜変更・修正作業を行い、後半では、機関毎に議論された変更点や課題を報告し、共有しました。



川元副所長

村上教授



■日 時：平成30年2月26日 13:00～17:00
■会 場：延岡市消防本部 2F 会議室
■参加者：人数：約46名

① タイムライン一次案の確認 災害・防災情報、一次案の確認

■事務局から、「本日のスケジュール及び進め方の説明」、「タイムライン一次案の確認」と題して、防災気象情報の種類、発表のタイミングなどについて説明がありました。



本日のスケジュール及び進め方の説明



訓練の進め方とタイムライン一次案の確認

② グループワーク 各機関で災害時の行動項目を確認・修正

■各関係機関で、時系列に沿って行動項目の内容とそのタイミング、伝達先、連携先を確認し合いながら、変更点や追加する項目があれば適宜付箋を用いて修正作業を行いました。さらに、各機関が検討すべき項目や、留意点、課題について、各々「当日メモ」に整理しました。



行動項目を確認



変更・追加する箇所を明示



時系列に沿って行動項目を確認



各関係機関の作業の様子



各関係機関の作業の様子

③ 報告 各関係機関で議論した変更点や留意点を発表、今後に向けての課題を共有

■各関係機関でまとめた行動項目一覧表をもとに、議論した変更点や留意点、課題について報告しました。各関係機関から訓練を受けての感想や、今後に向けての課題を共有することができました。



各関係機関の報告の様子（各関係機関で議論した内容を当日のメモにまとめて発表）



④ 総括 L2の判断目安、関係機関間の情報共有システム、各機関内での協議



■宮崎大学の村上教授は、「今回の訓練を通じて、L2の判断についてのおおよそのタイミングを決めておくこと、組織間の連携が円滑となるような情報共有システムを構築していくこと、個々の組織でもっと協議していくことの重要性について気付かれたと思うので、引き続き個別のヒアリングのご協力をお願いしたい。」ということを周知されました。

五ヶ瀬川タイムライン机上訓練の様子

全体の様子



訓練の様子



訓練の様子



各機関の報告の様子

